

## デング熱迅速診断試薬の評価試験に参加していただいた方へ

平成24年6月から平成26年3月まで、国立国際医療研究センター病院、がん・感染症センター都立駒込病院、都立墨東病院において実施しましたデング熱迅速診断試薬の評価試験にご参加いただき、誠にありがとうございました。

今年は約70年ぶりに首都圏を中心として日本国内でデング熱の発生が認められています。現在、国の承認を受けた検査試薬がないために、デング熱が疑われる患者さんに検査を十分に行うことができない状況が発生しました。国の審議会でも、この問題が重く受け止められ、国内医療機関におけるデング熱の検査診断体制について、国が整備を迅速に図るよう指摘がありました。

この度、厚生労働省から国立国際医療研究センターに対して、検査診断体制を整備するために、本研究で得られた情報を速やかに活用するよう要請がありました。これを受けまして、開発企業（アリーアメディカル社、バイオ・ラッド社、バイオメディカル研究所）が当該検査試薬の承認申請を行う場合には、本研究で得られた情報を当該企業に提供することにいたします。提供する情報には、氏名、生年月日、住所などの個人情報を含みません。なお、本研究は公的資金の厚生労働科学研究費補助金により実施され、研究代表者には、当センター規定に基づき、開発企業との利益相反管理が行われております。

開発企業への情報提供を望まない方は、平成26年11月20日までに、下記の研究代表者まで、ご連絡ください。ご協力どうぞよろしくお願いいたします。

平成26年10月21日

研究代表者

国立国際医療研究センター 国際感染症対策室医長  
加藤康幸

電話 03-3202-7181（代表）